

第12回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和2年3月5日

番号	1	質問者	西 本 英 輔	タイトル	新型コロナの対応は？
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	流行病対策について	(1) 本市では感染者の報告はないが、新型コロナウイルス感染症の流行により、日本各地でマスクが品切れ状態となっている。本市でも同様であり、市民の新型コロナウイルス感染症だけではなく流行性感冒、花粉症等の季節性疾患の予防に支障が出ていることは、朝来医療センターがインフルエンザ感染拡大を防ぐ目的で面会制限を行っていることから推測できる。市内における流行性感冒、花粉症等の季節性疾患による医療機関受診者数はどのように推移しているか。 (2) 政府の発表では週1億枚を超えるマスクを供給できるようになったとのことだが、実際に市内での品不足がいつ解消されるか市内販売店やメーカーに確認するなどの情報収集をされているか。 (3) 2月上旬に公立豊岡病院ではマスクの在庫が少なくなり、万が一の場合は新規の患者の受け入れが困難となるといった旨の報道があったが、朝来医療センターも含め現状はどうなっているか。また市内民間医療機関の現状はどうか。 (4) 新型コロナウイルス感染症だけでなく、季節性感冒などの疾病も高齢者や基礎疾患がある者は重篤化のリスクが高まると言われている。市内の高齢者介護施設などではマスクは足りているのか。 (5) 市としてマスクやアルコール消毒液、塩素など感染症予防品は備蓄されているのか。 (6) 備蓄されているのであれば市内の高齢者や子供達等、免疫力が低いと思われる者の為に配布するお考えはあるか。また、備蓄していないのであれば今回の新型コロナウイルス感染症のみならず、今後も未知なる新型ウイルス等による感染症の脅威が発生する可能性、また大規模災害時には避難場所で既存の感染症が発生する可能性もある為、備蓄すべきと考えるがどうか。 (7) 2月25日に新型コロナウイルス感染症対策の基本方針が政府より示され、感染への不安から帰国者・接触者相談センターへの相談なしに医療機関を受診することは、かえって感染するリスクを高めること			市長 教育長

になる為、まず同センターへ連絡するとあり、また厚労省のホームページによると、一定の条件を満たす者は最寄りの保健所などに設置される帰国者・接触者相談センターに問い合わせるようとの記載がある。朝来市では朝来健康福祉事務所に相談窓口が設置されているが、現状で窓口にはどのくらいの問い合わせがあるのか、また、その内、実際に疑似症患者と判断される相談はあったのか。

- (8) 基本方針によると、新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合は、感染状況の正確な把握、感染拡大防止の観点から、センターから帰国者・接触者外来へ誘導するとあるが、朝来健康福祉事務所で疑似症患者と判断された場合はどこで外来診察を受けるのか。
- (9) 朝来市民が新型コロナウイルス感染による合併症（上気道炎や新型肺炎）を発症した場合や重篤化した場合はどこで入院治療を受けるのか。また、家族を含む濃厚接触者はどのような対応が求められるのか。
- (10) 市内の小中学校及びこども園の関係者（生徒、児童、園児、教職員、用務員、保育士、スクールバス運転手、給食センター職員、給食配送車運転手等）に新型コロナウイルス感染症感染者が出た場合、どのように対応されるお考えか。
- (11) 市役所は市民のみならず、不特定多数の者が様々な用事で来庁する。当然、それだけ感染のリスクが高まるが、職員、来庁者ともに感染を防止する為に何か対策を講じておられるか。
- (12) 他自治体や民間団体では行事やイベントを取り止めたケースもあるが、朝来市でもそういった対応を検討されているのか。
- (13) 全国の観光地で入り込み客数の減少が目立っている。朝来市及び但馬各地、近隣各地観光地の外国人旅行者、国内旅行者についてはどのような変動が見られているのか。
- (14) 今回の騒動が収束しなければ、春の行楽シーズン、またそれ以降においても大きな観光客の減少が予想されるが、どのような対応策を検討されているか。
- (15) 都市部では令和2年度の卒業予定者を対象とした就職セミナーの中止も相次いでいるようだが、UIJターンを見込んだ若者の移住定住に影響はあるのか。

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 5 日

番号	2	質問者	足 立 義 美	タイトル	令和 2 年度施政方針・施策を問う
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	移り住んでみたいまちづくり	(1) 企業誘致促進事業の推進について ・大型店舗の撤退が相次ぐ中であって、市の活力保持のため、企業誘致促進を加速させるべきだと考えますが、市長の考えは。 (2) まちの顔となる産業交流拠点の活性化推進について ・官民一体となった交流の推進と産業の活性化を図るための施策を検討するとしていますが、どのようなメンバーでいつ頃までにされるのか。 ・また、その予算措置は。 (3) 但馬まるごと感動市・食の祭典 in あさごの実施について ・従来の「但馬食文化まつり」との違いは。 ・開催場所は。 ・兵庫県の予算措置の状況は。 (4) 街なみ環境整備事業（多々良木地区）の整備について ・予算が大幅に増えています。播磨ふれあいの家の閉館を見据えた予算となっていますか。 ・具体的な事業内容は。			市 長
2	住み続けたいまちづくり	(1) 高齢運転者の事故防止について ・兵庫県が実施する事故防止対策補助金の随伴補助とのことだが、対象を 75 歳以上と決めた理由は。 ・随伴補助であれば補助金請求手続き等は、簡素化されるのか。 (2) ひきこもり対策推進事業について ・身近な相談窓口、安心して過ごせる居場所づくりに取り組むということで、当事者にとって朗報だと思うが、支援業務の委託先は、できる限り市内の組織を選定すべきだと考える。市長の考えは。 (3) 東京オリンピック聖火リレーについて ・コロナウイルスの感染拡大が心配の中、準備に余念がないと思うが、現在の準備状況は。 ・また、いつ頃、事業の詳細が明らかになるのか。			市 長 教育長

	(4) 日本オオサンショウウオの会朝来大会の支援について ・補助金を出すなど、大会が盛り上がるよう努力されています。支援にあたり市として住民の誇りの醸成と地域活性化に寄与する活用方法を検討実施するとされています。具体的に取り組む内容は。	
3 安心して子どもを育てられるまちづくり	(1) 朝来市出生祝事業について ・子どもの出生を祝福するため、すべての出生児に「こども商品券」を支給するとしています。祝いなので金額の多寡でないかもしれませんが、この額になった経緯について、伺います。	市 長
4 今より人口が減っても持続可能な地域づくり、まちづくり	(1) 男性職員の育児に伴う休暇・休業の取得促進について ・男性職員の育児に伴う休暇・休業を取得しやすい職場環境づくりを促進するとしています。具体的な取り組み方法は。 (2) 就職氷河期世代を対象とした職員採用試験実施について ・就職氷河期世代を対象とした職員採用試験を実施するとのことですが、具体的な採用予定人数や職種等は。 (3) 戸籍住民基本台帳事業のサービス拡充について 「コンビニ交付サービス」が4月1日から実施され、住民票、戸籍謄本、印鑑登録証明などが24時間取得可能となり、市民サービスが充実するとのこと。この時期をとらえ、マイナンバーカードの普及に全力を挙げるべきだと考えますが、市長の考えは。	市 長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 5 日

番号	3	質問者	吉 田 俊 平	タイトル	総合的で体系だった子育て支援を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	新型コロナウイルス対策について	(1) 検討している内容はこういったものか。 (2) 先ずは感染蔓延防止策をどの様にとるのか。			市 長 教育長
2	子育て支援策について	(1) 出生数の減少が止まらない中で、総合的で体系だった新たな子育て支援策が求められている。その新たな財源を 1 億円として、令和 2 年度に財政削減を検討実施した上で、令和 3 年度以降に 1 億円子育て支援事業を実施する考えはないか伺います。 (2) 福島県郡山市の「PEPKidsKoriyama」を参考にして、屋内型キッズ施設・屋内遊び場と呼ばれる施設整備を前述の支援事業財源で行う考えはないか。これはただ単に多額の施設整備を求めているのではなく、現存の施設である市内最大規模のショッピングセンター内を間借りして行おうとの提案であり、留置を求める市と多くの利用者の来訪があるセンターとの間で利益が合致するものであるので一考の余地があると考えが如何か。			市 長
3	学力の向上について	(1) UD 教育の問題点は、UD 化ハンドブックを推進したい教育委員会と UD 化ハンドブックの取捨選択を行っている各学校との間に乖離が起きている点であるので早急に UD 化ハンドブックの見直しが必要である。そこで義務教育の小学校・中学校の連携を行う観点から、中学校単位での再検討や見直しそして UD 教育の推進を行う必要があると考えるがどうか。また、その際には UD 担当者会議と学習部会を授業づくりの観点から統合し、今後は UD 教育を授業づくりの一つの視点として位置づける必要もあると考えるがどうか。			教育長
4	人事評価について	(1) 公表された人事評価の状況において、目標管理評価は前期後期の平均で S 評価が 0 %、A 評価が 42.3 %、B 評価が 55.1 %で全体の 97.4 %であり、勤務成績評価は極めて良好が 1.8 %、特に良好が 18.2 %、良好が 72.0 %で全体の 92.0 %であった。これは分布という考え方からは非常に評価の甘い結果となっている。そ			市 長

	の原因をどの様に総括し、どの様に改善していく考えか伺います。	
5 外部監査について	(1) 外部監査の導入を検討する考えはないか伺います。	市 長
6 公共施設再配置について	(1) 個別計画の施設判断基準はどういったものか伺います。	市 長
7 サテライトオフィスについて	(1) 2年前の平成 30 年 3 月議会と 6 月議会に提案致したが、その後に全国で取り組まれ、朝来市はサテライトオフィスの後進自治体となってしまっている。この機に再度検討実施する考えはないか伺います。	市 長
8 年代別所得額について	(1) 勤労世代の年代別所得額はどうなっているのか、20 代から 50 代の平均額を伺います。もし、所得額の把握に税情報が活用できないのであれば、市が独自に調査を実施し、その結果を施策に生かすという考えはないか伺います。	市 長
9 パブリックコメントについて	(1) 平成 19 年度以降今日まで 38 件のパブリックコメントに対して 51 名の方が意見を出されたが、プッシュ型の情報提供は興味のある方や行政等に特に関心をお持ちの方にだけ集中するといった弊害がある。そこで今後はプル型の情報提供や、プラーヌクスツェレの手法を用いた市民の幅広い市政参加を目指すべきと考えるがどうか。	市 長
10 播 但 線 の 電 化・複線化について	(1) 従来議論を聞いていると電化や高速化の議論に終始しているように聞こえるが、JR は公共交通を担っているものの、本質は営利企業であり、播但線の利用促進を図らなければ、電化・高速化は単なる負担増となるだけである。遠回りにはなるかもしれないが、JR の利用促進を推進する必要がある。令和 2 年度からは JR の団体（市内）利用補助が創設されることは評価をするが、更に多くの利用を推進しようとする市外利用者を増やす必要がある。そこで、SL などの観光列車を播但線で走らせる検討を真剣に始めるべきであるとするがどうか。	市 長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 5 日

番号	4	質問者	岡 田 和 之	タイトル	市内経済の状況について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	市内経済の現状について	(1) 内閣府が 2 月 17 日に発表した昨年 10～12 月期の国内総生産（GDP）速報値は、物価上昇分を差し引いた実質成長率が、前期（7～9 月期）に比べ 1.6%低下しました。年率に換算すると 6.3%ものマイナスとなり、予測を上回る落ち込みになっています。10 月からの消費税率の 10%への引き上げが、家計も経済も直撃しています。GDP のマイナス成長は 5 四半期ぶりで、日本経済が消費税の増税後、新たな消費不況に突入したことを示しています。市長はこの状況をどのようにとらえているのかお尋ねします。 (2) 市内の経済状況についてどのように把握しているのかお尋ねします。 (3) 消費増税の影響に加えて新型コロナウイルス感染症の拡大が日本経済に深刻な打撃を与えつつあります。本市においても影響が出始めています。資金繰りが苦しい中小零細事業者に対する緊急のつなぎ融資や、感染の広がりによって売り上げが減少している事業主に対する雇用維持対策などが必要だと考えますがいかがでしょうか。			市 長
2	給食費の無料化について	(1) 昨年 10 月から幼児教育の無償化が始まり、これまでの保育料の保護者負担を軽減するための予算がいらなくなりました。このお金も活用して中学生までの給食費を無料にすることを求めます。見解をお尋ねします。 (2) さしあたり教育費の負担の多い中学生を無料化の対象にした場合、どのくらいの予算が必要なのかお尋ねします。			市 長 教育長
3	難聴者対策について	(1) ヒヤリンググループは補聴器の使用者にとって有効な設備だが、本市での活用はどのようにになっているのかお尋ねします。			市 長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 5 日

番号	5	質問者	藤 本 邦 彦	タイトル	魅力あふれる朝来市を未来へ
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	住民参加でオオサンショウウオ全国大会の成功を	(1) 本年 10 月に日本オオサンショウウオの会 第 17 回全国大会『朝来市大会』が開催され、同時に日本では初の国際シンポジウムも開催される。 2 月 26 日の神戸新聞では「記者の注目施策」として大きく取り上げられ、その中で「全国大会を一過性のイベントとせず、長期的な保護と振興施策の出発点としてほしい」との期待が述べられていた。 本市はオオサンショウウオの生息地として、また調査研究の先進地として、まさに聖地として、全国のオオサンショウウオ研究者、保護活動に取り組む人々から注目されている。つまり「長期的な保護と振興施策」を全国から期待されていると言えるわけだが、このような期待にどのように応えていくか。 私は生物多様性あさご戦略の策定こそ期待される施策でありオオサンショウウオは「あさご戦略」の象徴であると考えている。大会を契機とした「長期的な保護と振興施策」について市長のお考えをお伺いする。 (2) 大会を一部の研究者だけのイベントにすることなく、多くの朝来市民に参加頂き、市民がもっとオオサンショウウオを身近に感じることができ、私たちが住む朝来市がオオサンショウウオの生息地であるということを誇りに感じられる、そのような機会にしなければならないと考える。 そのために地域での観察会の他、子どもたちがオオサンショウウオに親しめるように、各学校でオオサンショウウオ観察会をぜひ実現して頂きたいと思うが実現は可能か。			市 長 教育長
2	コウノトリ育む郷づくりへの支援を	(1) 現在、与布土地区の三保の人工巣塔にコウノトリのペアが営巣、さらに東河地区の久田和の人工巣塔にもペアのコウノトリが営巣している。東河地区では昨年秋に東河地区協議会の呼びかけによる住民の皆さんの募金で、まさに地域の力で久田和と岡田の二ヶ所に巣塔を設置された。 市内で二組のコウノトリのペアが営巣するという快			市 長 教育長

	拳は、地域住民の皆さんの熱い思いと行動力の賜物である。 今後、コウノトリを育む郷づくりのための、農業振興、自然環境の保全と整備、生物調査、ビオトープの整備などへの取り組みが大事になってくる。地域へのアドバイスや支援策についてどのようにお考えか。 また、コウノトリは特別天然記念物に指定されているが市としてはどのような対応をお考えか。	
3 自伐型林業が果たす役割とは	(1) 市内の山林整備において、現在全国で拡がりを見せている「自伐型林業」が果たす役割りを、どのようにお考えか。市としてこれを推進する考えはあるか。	市 長
4 農業の担い手育成こそ最重要課題	(1) 農業の現場において、担い手の高齢化、担い手不足は深刻な問題である。そのような中、当市が独自に取り組む「新規就農希望者研修費補助制度」（農業研修生制度）には大いに期待を寄せている。しかし、心配する部分も多い。①将来的に農業で自立出来る十分な研修やサポートが出来ているか。②移住、定住するための農地付き住居があるか。③移住先地域での住民との交流や市民交流の機会が必要ではないか。など課題も多いように感じている。移住を受け入れる地域の側にもそれなりに移住者支援の仕組み作りが必要であろうと考える。 このような農業研修生へのサポート体制について、どのような状況か。 (2) 農業の現場での日常的な特に農繁期や草刈作業などにおける人手不足を解消するために、市内外からの「援農」支援の仕組み作りについて検討する必要があると思うが、農業研修生が一般農家へ援農に入ることは可能か。住民との交流にもなり、有意義な仕組みとなると思われるがどうか。	市 長
5 コミュニティスクールについて	(1) 地域に開かれ、地域に支えられた、地域総ぐるみの学校づくりを目指す、いわゆるコミュニティスクール事業について、いよいよ各学校に「学校運営協議会」を設置することになるが、地域にとっては何が始まるのか、地域に何が出来なのか、何をすれば良いのか、ほとんど解らない状況である。 丹波市ではすでに昨年度、全ての小学校と一部の中学	市 長 教育長

	校で協議会が設置され、協議会主催で、地域住民、教職員、保護者、行政職員などが参加する研修会や講演会などが数回にわたって行われている。 本市でも学校ごとにこうした研修会などを行う計画なのか。 どのような学校運営を目指すのか、地域として何が出来るのか、「地域とともにある学校」とはどのようなものか、学校と地域が話し合いながら具体的なイメージを共有する必要があると考える。 市として具体的にどのような形で本事業を進められようとしているのか伺います。	
--	---	--

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 6 日

番号	6	質問者	藤 原 正 伸	タイトル	未来につなぐもの
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	歴史文化遺産 の保存と活用 について	(1) 本市の日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」を構成する「鉱石の道」エリアの振興、および構成文化財の保全・活用に関し、来年度に予定される施策について伺います。 (2) 「鉱石の道」エリアのさらなる振興については広域連携が不可欠と考えますが、ご所見を伺います。 (3) 生野銀山入り口右手、第二駐車場脇に展示されている一円電車車両について、その保存と活用に関するお考えを伺います。 (4) 本市の環境基本計画の中に「歴史文化遺産の保存と活用」が定められています。その趣旨をどのように解されるか、ご所見を伺います。			市 長 教育長
2	特定外来生物 対策について	(1) 特定外来生物への対応について伺います。 (2) 特定外来生物の一つ、オオキンケイギクの駆除の取り組みについて伺います。 (3) 来年度の「クリーン但馬 10 万人大作戦」に合わせ、オオキンケイギク駆除の啓発を行ってはどうかと考えますが、ご所見を伺います。			市 長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 6 日

番号	7	質問者	鈴木 逸 朗	タイトル	インフルエンザ予防接種無料化を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	インフルエンザ予防接種について	(1) 高齢者の接種状況について ・過去 10 年間の高齢者の接種状況と、個人負担金額はどのようになっているか。 ・比較可能な県内他の自治体と比べてどのようになっているか。 (2) 接種費用の個人負担金について ・昨年から高齢者の予防接種費用の一部負担が再開された。対象者からの不満などをどのように感じているか。 ・再度無料化へかじを取るべきではないか。			市 長
2	変形労働時間制について	(1) 公立学校の教員の 1 年単位の変形労働時間制について ・国会で法律が改定されて導入が可能となったが、都道府県で条例を定めるかどうか、個々の自治体や学校が導入するかどうか、また年度ごとに導入するかどうかなど、制度は完全に選択制であるとの認識でよいのか。 (2) 今後の予定について ・市立学校に関連して、導入をめぐる審議や検討は、今後どのようにすすめられていくのか。 (3) 導入の前提として恒常的な残業がないことについて ・導入の前提として恒常的な残業がないことなどのハードルがあり、また労働時間の縮減が導入の前提とされている。導入の条件としての労働時間や、時間外労働時間はどのようなものか。 ・昨年 3 月の答弁では、時間外労働時間は中学校で月平均 70 時間弱、小学校で 30 時間弱と、市内教職員も長時間労働となっている。導入の条件を超えている教職員はどの程度か。 (4) 勤務時間管理が不正確でも導入不可について ・客観的な方法等によって、勤務時間管理が徹底されていなければ導入できない。正確な勤務時間管理をどのように行っているのか。			市 長 教育長

	(5) 管理職や事務職員の負担について ・導入によって、管理職や事務職員の負担は増加しないか。 (6) 夏の休日まとめ取りについて ・「夏の休日まとめ取り」は、制度導入しなくても可能ではないか。どのような方法が考えられるか。	
3 要援護者ごみ戸別収集の制度について	(1) 和田山自治協の取組について ・要援護者ごみ戸別収集制度を、和田山自治協が取組を始めると聞く。感想を尋ねる。 (2) ごみ処理計画について ・ごみ処理計画では、要援護者ごみ戸別収集の制度を検討することになっているが、その検討内容は。 (3) 交付税措置について ・国は要援護者ごみ戸別収集制度について、交付税措置を行うとした。市としての対応は。	市 長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 6 日

番号	8	質問者	能 見 勇八郎	タイトル	市の人口政策について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	「施政方針並びに施策の概要」における問題点について	(1) 精神科医 岡田尊司氏の「ネオサピエンスー回避型人類の登場ー」では I T 革命は心の絆を求めない回避型愛着スタイルの人類を作り出したとある。そして、全体の人数比率は現在ヨーロッパで成人の 3 割、アメリカでは 2 割にせまっている。若者ではさらに高く、日本では過半数に及ぶと言われている。そしてその回避性パーソナリティ障害の有病率は 2007 年のアメリカの調査で 5.2%と言われている。 ・このような世代に、出生祝事業での 1 万円のお祝いとはどのような意味をもつと考えるか。 ・このような世代での、男女の出会いサポート事業の今後の見通しはどうか。 ・「シビックプライド」を育み、移住・定住・交流人口の拡大と地域の活性化につなげるとあるが、新人類への十分な働きかけになるか。			市 長
2	香川県議会の条例制定について	(1) 香川県ゲーム規制条例はオンラインゲームへの依存症を防止する目的をもっている。この依存は不登校やひきこもり、さらには自殺の原因になるとも言われる。この制定についてどう考えるか。 (2) このような条例等を検討する考えはないか。			市 長 教育長
3	このような状況における人口政策の対応について	(1) 人口問題の根底にはこの回避型人類の問題がひそんでいると考える。つまり市外に出た若者の U ターンが十分でない原因になっているのではないか。なんらかの対策が必要と思われるがどうか。			市 長 教育長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 6 日

番号	9	質問者	森 田 龍 司	タイトル	朝来の活力あるまちづくりを拓く
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1 観光基本計画の 進捗状況について			(1) 観光行政における政治・行政の役割は、何だとお考えですか。 (2) 観光行政における最も重要な課題、緊急を要する課題は、何だとお考えですか。 (3) また、その理由は何ですか。 (4) この課題解決に向けた今後の展望は、また、その進め方について、どうお考えですか。 (5) 市長として、本市の観光経済や観光経営について、どのような姿を目指していますか。 (6) 観光経済の促進や観光経営の実践について、現在どのように取り組んでいますか。 (7) 観光経済の促進や観光経営実践における課題は、何だとお考えですか。この課題解決に向け、今後、どのように進めていきますか。 (8) 竹田城跡を拠点とした市内周遊観光とインバウンド観光の進捗状況についてお尋ねします。 (9) 周遊型と滞在型の取組について、令和2年度の活動と着地について尋ねます。 (10) 新型コロナウイルスの感染拡大から外国人観光客減が予想されるが、インバウンド観光の方向修正は考えていますか。 (11) 観光消費拡大を推進するためのアクションプランについてお聞かせください。 (12) 観光経営をしていく上で、民間業者に対して具体的にどのような支援がありますか。また、今後どのような支援が必要だと考えていますか。 (13) 現在の竹田のまちなかの観光地経営、及び各飲食店、宿泊施設、土産物店などの経営状況について、どのように考えていますか。 (14) 竹田のまちなかを「城下町」として、まち全体を売り出していくために、行政・民間事業者・地元・市民がひとつになって観光客の誘致促進をすることについて、どのように考えていますか。 (15) 観光基本計画の進捗確認する外部委員会の開催回数と交わされた意見、方向修正についてお尋ねします。		市 長

	(16) 兵庫県では、日本遺産を活用した地域の魅力づくりを推進するために、その取組を地域と協働して進めるとしてありますが、その事業内容についてお尋ねします。 (17) 但馬サイクルツーリズム事業の事業内容について、お尋ねします。	
2 市小学校・中学校における必要書類等の保管について	(1) 市内小・中学校における必要書類等の保管について尋ねます。 (2) 統合になった旧小学校・旧中学校の学校数について尋ねます。 (3) 統合になった旧小学校・旧中学校における必要書類・記念誌・備品などの保管について尋ねます。	教育長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 6 日

番号	10	質問者	森 下 恒 夫	タイトル	各部所で行うべき課題は何か
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	市内経済の危機的状況について	(1) 現状認識を伺う。 (2) 今できること、やらなければならないことは何か。 (3) 今対策を打たないと市の存続に関わる。早急な対策が必要と考えるが所見は。 (4) 大型商業施設内のテナントの撤退が目立つ。市として集客を側面的に応援する必要があると思うが所見は。 (5) 市に今、何が求められているのかといった観点で経済対策、政策、まちづくりを考えるべき。所見は。			市 長
2	古墳の国指定について	(1) 古墳群の国指定に向けた取り組みの進捗は。 (2) 池田古墳、船山古墳、小丸山古墳と 3 つの前方後円墳が市内に存在するが歴史、文化的な位置付け、評価は。 (3) 池田古墳については、古墳内に民家が存在する。国指定に支障はないか。所有者に移転を打診したことはあるか。			市 長 教育長
3	円山川洪水対策について	(1) 昨年、兵庫県が新たな、洪水による浸水想定を発表した。従来と大きく雨量の想定が変わり、早期に市の防災計画の変更が必要だが、現在の進捗状況は。 (2) 48 時間に 505 ミリの想定で浸水域を示しているが、それによると和田山駅 から高田の間の浸水深さは 3 m から 10m としている。現在の堤防高は当初の計画高さ確保されていない。早急に県に強く要望すべきと考えるが、所見は。			市 長

第 12 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 2 年 3 月 9 日

番号	11	質問者	日 下 茂	タイトル	市内観光客と大型商業施設の異変
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	鉄道網の衰退 と将来性につ いて	(1) 山陰本線（京都から鳥取）や播但線の歴史や現状を認識、検証した上で、JR へ何を要望すべきと、お考えか。 高速化や新車両の導入等については、どうか。 (2) 但馬の鉄道網の衰退を防ぐため、沿線市町の観光資源連携により活力を見出せないか。 (3) 大企業誘致で輸送力活性化を図り鉄道の再整備が見出せないか。			市 長
2	路線価の下落 と民間投資に ついて	(1) 路線価の下落について ・原因は何と考えるか。 ・交流人口・消費人口の減少の原因と対策は。 (2) 交通の要衝のまちが活力を失いつつある。 ・市長の見解は。 ・大型商業施設に異変が生じている認識と対策は。 ・何もなかった「通過のまち」対策に原因はないか。			市 長
3	竹田城の観光 について	(1) 観光立国、経済波及効果の公約に対して、市長の見解は。 (2) 竹田城閉山と観光客のニーズについて ・冬季閉山について再考すべきでないか。			市 長 教育長